

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7919 比較経営論B			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜3限				
教室	J102教室				
代表教員	村田 大学				
担当教員	村田 大学				
テーマと到達目標	<p>外国企業との競争・連携が進む中で、各国企業の特徴を理解することは大切です。比較経営論Bでは、アジアに着目します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が、日本企業とアジア企業の違いを理解することができる。 2. 学生が、日本企業のアジア対応について一定の見識を持つことができる。 				
概要	<p>本講義では、アジアの新興国や主要発展途上国において、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国（アジア）企業は日本企業とどのように異なるのか？ 2. そして、その相違はそれぞれの活動にどのように反映されているのか？ <p>について学んでいきます。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	ガイダンス				対面授業
第2回	企業経営の多様性の背景				対面授業
第3回	グローバル化と国際経営				対面授業
第4回	アジアの高まるプレゼンス				対面授業
第5回	アジア企業と日本企業のビジネス文化の違い				対面授業
第6回	人材採用の異文化マネジメント				対面授業
第7回	インドのビジネス文化				対面授業
第8回	中国のビジネス文化				対面授業
第9回	韓国のビジネス文化				対面授業
第10回	香港のビジネス文化				対面授業
第11回	台湾のビジネス文化				対面授業
第12回	戦略的要衝として東南アジア				対面授業
第13回	ベトナムのビジネス文化				対面授業
第14回	国際経営の難しさ：ベトナムの事例				対面授業
第15回	授業の振り返り、全体のまとめ、最終課題				対面授業
成績評価の基準	最終課題（60%）、平常点40%（その他の課題など）				
履修にあたっての留意事項	<p>授業の内容や方法は、状況に応じて変更となる場合があります。授業には真摯に取り組んでください。教科書は必須です。原則、欠席は認めません。和光ポータルを積極的に活用します（各種連絡、資料配布、課題の提出等）。</p>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	オンライン授業はオンデマンド型で行う予定です。				
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	上田和勇・小林守・池部亮・田畠真弓「わかりあえる経営力=異文化マネジメントを学ぶ」同文館出版, 2022年。	教科書(ISBN)	
参考文献	随時指示します。	参考文献(ISBN)	